

遊行二祖真教上人七百年御遠忌ご寄付のお願い

謹啓

庭の紫陽花が慈雨にぬれて、微笑みを湛えている今日この頃、檀信徒の皆様には、平素より菩提寺及び総本山の護持にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、来る平成三十一年は、遊行二祖真教上人七百年御遠忌の年です。現在、御遠忌に向けて記念事業の計画をまとめております。そのなかに、「総本山御本尊修復計画」があります。

そもそも総本山遊行寺は、正中二年（一三二五）に遊行四代吞海上人よって創建され、今日に至るまで六百年以上の歴史を持つ古寺です。

その間、数度に亘る戦火、火災により堂宇は度々焼失し、創建当初の御本尊様は、今日伝わっておりません。現在、本堂に安置されている御本尊様は、江戸時代中期に安置されました。それより今日に至るまで、私たちを見守り続けてくださっています。

しかし、東日本大震災以降、御本尊様の慈光の異変に気づき、急きよ現状調査を専門家に依頼しました。その結果、損傷がひどく直ちに修復を行わなければならない状態であることが判明しました。

つきましては、時宗僧侶並びに檀信徒全員が丸となって御本尊様の修復のために総力を結集し、この事業を完遂しなければなりません。

世情厳しき折から誠に恐縮ではございますが、檀信徒の皆様方にも浄財勧募のお力添えをいただき、ぜひとも御本尊様を後世に伝える貴重な事業の実現にご賛同賜りますようお願い申し上げます。

合 掌

平成二十七年六月吉日

遊行七十四代 他阿真円
時宗宗務総長 桑原弘善

時宗檀信徒 各位